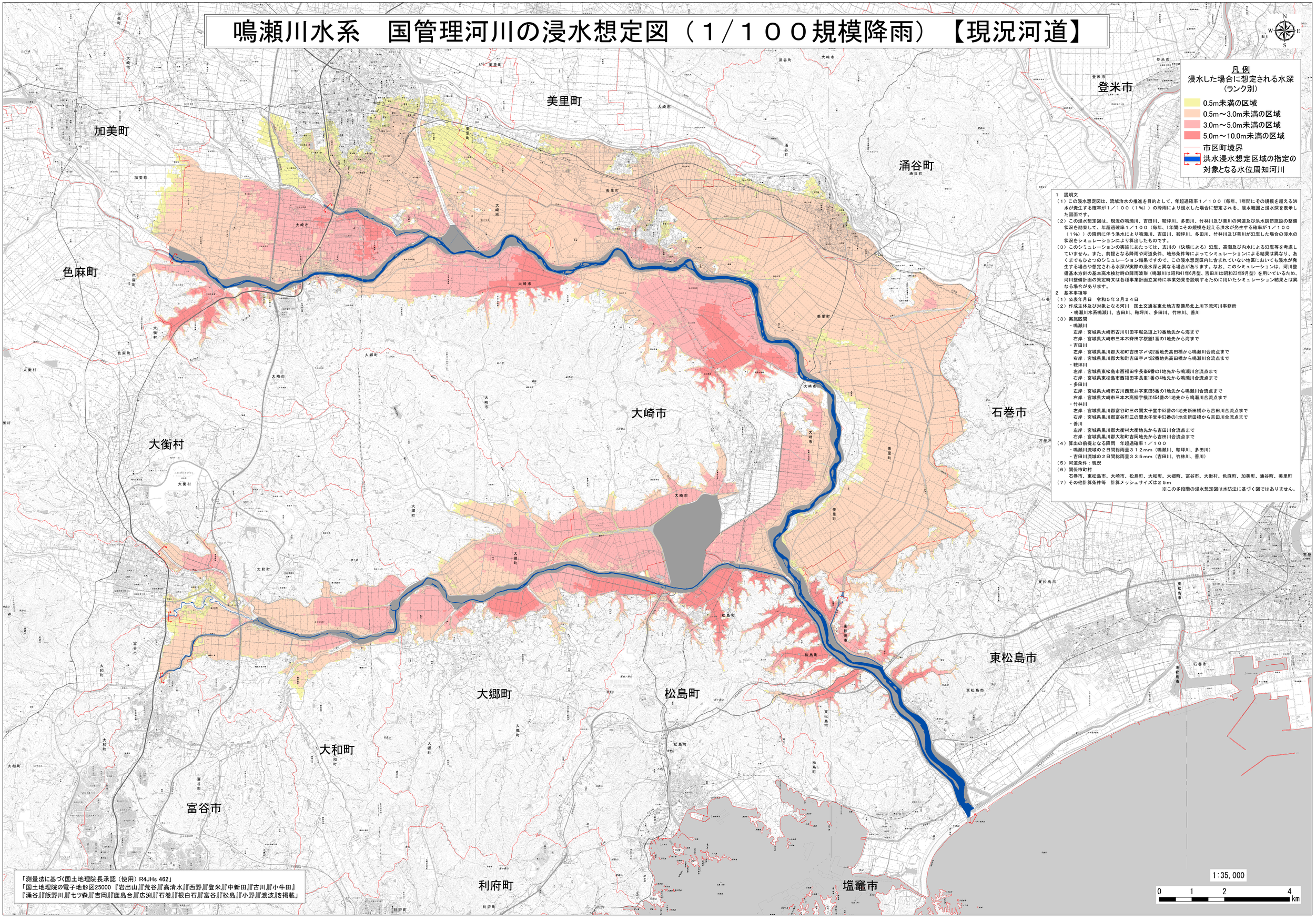
# 鳴瀬川水系　国管理河川の浸水想定図（１／１００規模降雨）【現況河道】




1　説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１００（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、現況の鳴瀬川、吉田川、鞭埣川、多田川、竹林川及び善川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１００（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））の降雨に伴う洪水により鳴瀬川、吉田川、鞭埣川、多田川、竹林川及び善川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションによる結果は異なり、あくまでもひとつのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（鳴瀬川は昭和41年6月型、吉田川は昭和23年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2　基本事項等

（１）公表年月日　令和５年３月２４日

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所
・鳴瀬川水系鳴瀬川、吉田川、鞭埣川、多田川、竹林川、善川

（３）実施区間
・鳴瀬川
左岸：宮城県大崎市古川引田字堀込道上79番地先から海まで
右岸：宮城県大崎市三本木宮田字桜館1番の1地先から海まで
・吉田川
左岸：宮城県黒川郡大和町吉田字〆切2番地先高田橋から鳴瀬川合流点まで
右岸：宮城県黒川郡大和町吉田字〆切2番地先高田橋から鳴瀬川合流点まで
・鞭埣川
左岸：宮城県東松島市西福田字長峯6番の1地先から鳴瀬川合流点まで
右岸：宮城県東松島市西福田字長峯1番の4地先から鳴瀬川合流点まで
・多田川
左岸：宮城県大崎市古川西荒井字東田5番の1地先から鳴瀬川合流点まで
右岸：宮城県大崎市三本木高柳字横江454番の1地先から鳴瀬川合流点まで
・竹林川
左岸：宮城県黒川郡富谷町三の関太子堂中63番の1地先新田橋から吉田川合流点まで
右岸：宮城県黒川郡富谷町三の関太子堂中63番の1地先新田橋から吉田川合流点まで
・善川
左岸：宮城県黒川郡大衡村大衡地先から吉田川合流点まで
右岸：宮城県黒川郡大和町吉岡地先から吉田川合流点まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／１００
・鳴瀬川流域の２日間総雨量３１２mm（鳴瀬川、鞭埣川、多田川）
・吉田川流域の２日間総雨量３３５mm（吉田川、竹林川、善川）

（５）河道条件：現況

（６）関係市町村
石巻市、東松島市、大崎市、松島町、大和町、大郷町、富谷市、大衡村、色麻町、加美町、涌谷町、美里町

（７）その他計算条件等　計算メッシュサイズは２５m

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R4JHs 462」
「国土地理院の電子地形図25000『岩出山』『荒谷』『高清水』『西野』『登米』『中新田』『古川』『小牛田』『涌谷』『飯野川』『七ツ森』『吉岡』『鹿島台』『広渕』『石巻』『根白石』『富谷』『松島』『小野』『渡波』を掲載」